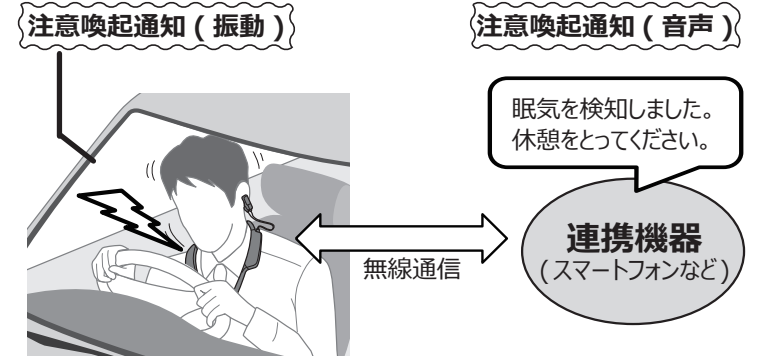




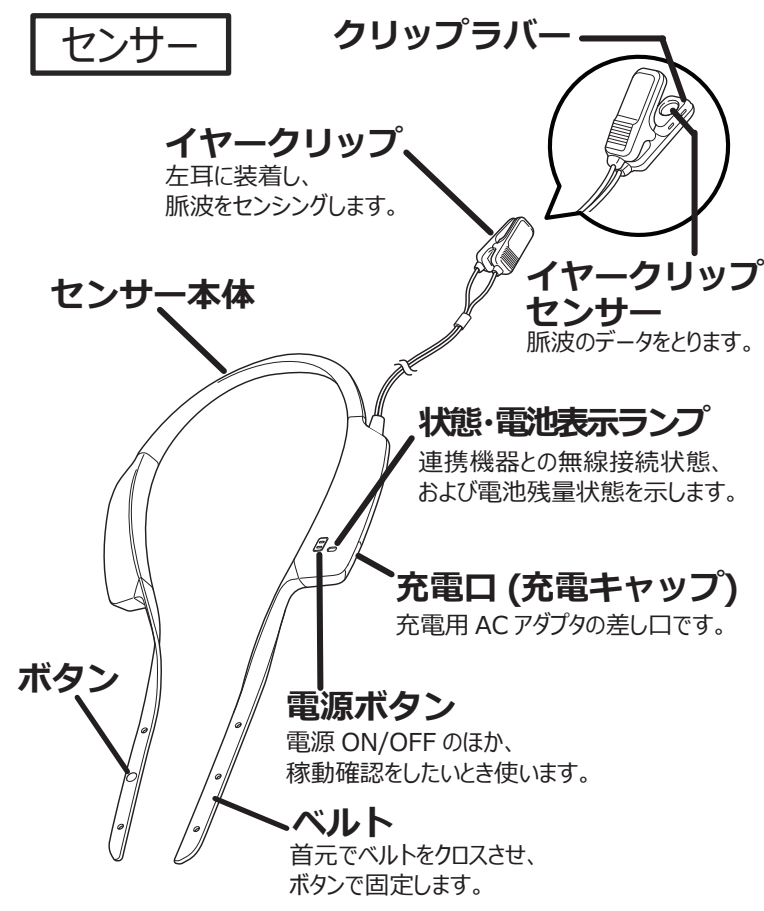
□ このたびは、弊社の製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
□ 安全に正しくお使いいただくため、ご使用前にこの『取扱説明書』を必ずお読みください。

本製品について

- 本製品はイヤークリップに搭載されたセンサー[※1]より得た脈波情報などからドライバーの眠気状態を検知し、音声や振動[※2]で通知して安全運転を支援する機器です。
 - ※1 名称については、「各部の名称」をご覧ください
 - ※2 音声は無線通信接続（以降、無線接続と記載）している連携機器から鳴ります。
振動はセンサー本体、もしくは無線接続している連携機器が振動します。
- センサーより得た脈波情報などは運行管理システムと連携した情報活用が可能です。



各部の名称



VE31S100 構成品	箱の中には以下のものが入っています。万が一不足のものがありましたら修理・相談窓口にご連絡ください。
品名	備考
スマホ版センサー	充電式電池内蔵
AC アダプタ	専用 microUSB 充電ケーブル含む
スマホ版センサー取扱説明書	保証書付き
FEELythm マニュアル	アプリケーション操作マニュアル

オプション品（別売り）

修理・相談窓口でお求めください。

品名	型名	備考
AC アダプタ	VE31C100	専用 microUSB 充電ケーブル含む
イヤークリップラバー	VE31D100	

安全上のご注意

- 他の人への危害や財産への損害を未然に防止するため、各注意事項を必ずお守りください。
- 警告・注意表示とマークの意味について**
- 警告** 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負う危険性が想定される内容を示します。
- 注意** 誤った取り扱いをすると、人が障害を負ったり物的損害を負う危険性がある内容を示します。
- してはいけない内容（禁止事項）です。
- 守らなければならない内容（強制事項）です。

警告

指示 **万が一、異常が発生したときは**
本体から異臭や煙、発火が発生した場合には、ただちに使用を中止し、電源を切り、充電中の場合は、付属の AC アダプタをコンセントから抜いてください。機器の破損・故障、あるいは火災・電氣的なトラブルなど重大な事故の原因となります。

禁止 **分解、改造をしないでください**
本製品はたとえネジ一本でも絶対に分解しないでください。機器の破損・故障、あるいは感電・火災などの原因となります。その際発生する、いかなるお客様の損害に対しても一切補償できません。

禁止 **強い衝撃を与えたり、落下させたりしないでください**
機器の破損・故障、あるいは火災・電氣的なトラブルなど重大な事故の原因となります。

禁止 **車の中には絶対に長時間放置しないでください**
高温の車内に長時間放置しておくと、内部電池の破裂・火災・故障の原因となり大変危険です。

禁止 **高温多湿の場所に保管しないでください**
本製品は精密な電子機器です。高温・多湿の環境、長時間直射日光の当たる場所での保管は絶対にしないでください。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。

指示 **充電には専用の AC アダプタと充電ケーブルの組み合わせで使用してください。また、他の用途で 사용하지 しないでください。**
機器の破損・故障、あるいは火災・電氣的なトラブルなど重大な事故の原因となります。

指示 **充電が完了したら必ず専用充電ケーブルを取り外してください。また、必要な充電時間を終えて充電完了とならない場合でも、いったんケーブルを取り外してください。**

指示 **本製品と接する皮膚がかぶれたり湿疹ができた時は使用を中止し、すぐに医師にご相談ください**

.....

✿ **本製品は、ドライバーの脈波情報を元に眠気を検知し、注意喚起を行うことにより安全運転を支援する補助的な役割の機器です。なお、ドライバーの状態や装着方法によっては眠気の状態を正しく検知できない場合があります。**

✿ **本製品は、ドライバーの居眠り運転や居眠り運転による事故の防止を保証するものではなく、居眠り運転などの事故について、弊社は一切の責任を負いません。本製品の使用中であっても、4 時間に一度は必ず休憩をとるようにしてください。**

無線通信（電波）に関するご注意

本製品の使用周波数帯域では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

- 本製品を使用する前に、近くに移動体識別用の構内無線局、および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万が一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
- その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは修理・相談窓口までお問い合わせください。

注意

指示 **ご使用の際は接続機器の取扱説明書の指示に従ってください**
本製品は連携機器と無線通信による使用が可能です。接続先の機器により設定方法や注意事項が異なります。使用の際はこれらの機器の取扱説明書をよく読み、注意事項に従ってください。

禁止 **温度差の激しい場所や状態、湿度が高い場所や状態で使用しないでください**
極端な高温（低温）や高温多湿な状態、場所では使用しないでください。また、急激な温度変化は結露の原因となり動作させると故障の原因となりますので、周囲の温度との差がなくなってからご使用ください。

指示 **本製品は精密な電子機器のため衝撃や強い振動の加わる場所、強い磁力の発生する場所、静電気の発生する場所などでの使用・保管は避けてください**

禁止 **安全上、運転中に充電しながらの使用はできません**

指示 **専用 AC アダプタのプラグは確実に根本まで差し込んでください**
差し込みが不完全な場合、隙間に埃や異物が入り火災の原因となります。また、抜くときはプラグを持って抜いてください。ケーブルを持って抜くと損傷・故障あるいは火災・電氣的なトラブルなどの原因となります。

禁止 **充電中は、本製品および USB ケーブルの周りに物を置かないでください**
発熱、発火、火災、やけどの原因となります。

禁止 **ベンジン・シンナーで拭かないでください**
塗装の剥がれ、ひび割れ、引火の原因となります。

禁止 **日本国外では使用しないでください**
この装置は日本国内専用です。国外では独自の安全規格が定められており、この装置が規格に適合することは保証いたしかねます。

基本仕様

製品型番	FEELythm VE31S100
使用周波数	2.4GHz 帯
無線通信規格	Bluetooth Low Energy(BLE)
電池	リチウムイオン充電電池 (DC3.7V/300mAh)
連続動作時間 [※1]	約 45 時間
充電時間 [※2]	約 4 時間
動作温度範囲	0℃～ +45℃
外形寸法 [※3]	約 330 × 170 × 24mm (高さ×幅×奥行き)
重量 [※4]	約 94g

- ※1：弊社測定条件で測定した連続で利用できる時間の目安になります。ご利用環境によっては使用時間が短くなる場合があります。
- ※2：電池残量がゼロの状態から、同梱の専用 AC アダプターによる充電完了までにかかるおおよその時間です。ご利用の環境によっては充電時間が長くなる場合があります。
- ※3：弊社測定条件による目安のサイズになります。イヤークリップ部分は含んでいません。
- ※4：弊社測定条件による重量になります。

以下のマークは、リチウムイオン充電電池のリサイクルマークです。

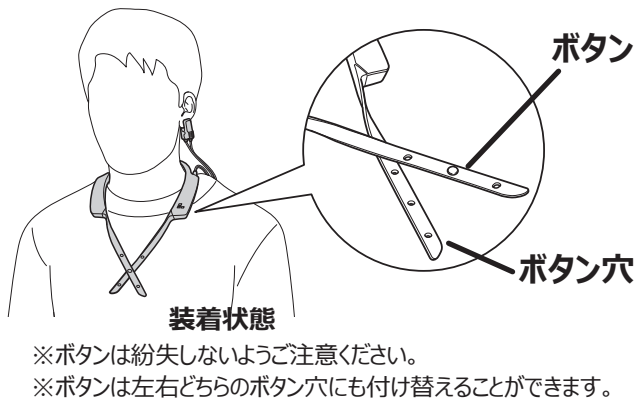
Li-ion 00

本製品には、以下の無線通信機器が内蔵されています。

R 001-A01718

使い方

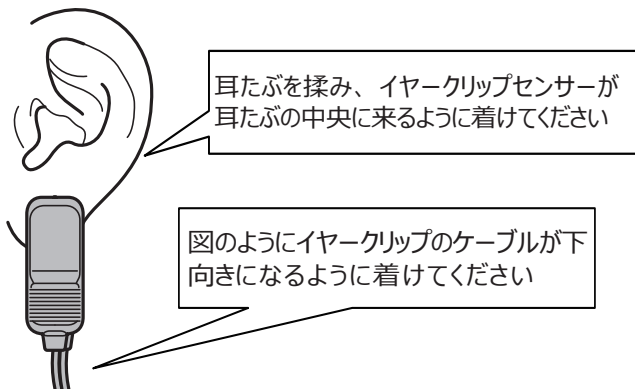
- 1 下記装着状態図のようにセンサー本体を装着する**
左右のベルトには各 3 ヶ所にボタン穴があり、ボタンを使って 3 段階で固定位置を調整することができます。



- 2 イヤークリップを左耳に装着する**

⚠ 注意

- ◆ イヤークリップは左耳装着専用です。
- ◆ ケーブルが絡まった状態で装着しないでください。



- 3 センサーと連携機器を無線接続する**

- ① センサー本体の左側面（装着時）にある電源ボタンを 3 秒間長押しします
- ② 状態・電池表示ランプが青色点灯すると同時にセンサー本体が振動し、電源 ON したことをお知らせします
- ③ 連携機器とセンサー本体との無線接続待ち状態に入ります ※状態一覧の無線接続待ち参照
- ④ 接続完了の通知音が鳴り脈波の測定を開始します ※状態一覧の無線接続完了参照

電源ボタン

❖ 本製品は、イヤークリップを装着し、無線接続を完了した後に脈波の測定を開始しますが、眠気レベルの基準値を算出中のため、開始からすぐには眠気の判定ができません。基準値算出以降から判定可能となります。

- 4 運行終了後**

イヤークリップを外し、電源ボタンを 5 秒間長押しして電源 OFF してください。なお、センサー本体は連携機器が電源 OFF してから 60 秒後に自動で電源 OFF します。

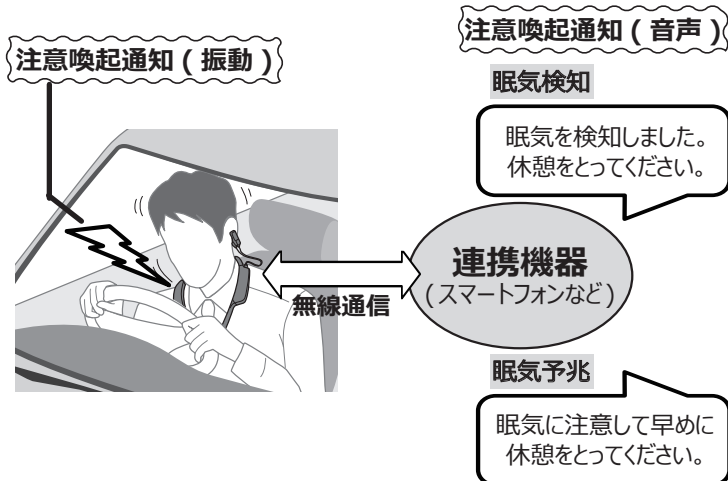
⚠ 注意

イヤークリップを外す際は、ケーブルを引っ張らず、クリップ部分をつまんで外してください。ケーブルを引っ張ると断線などの故障の原因となります。

走行中の動作について

走行中、センサーがドライバーの脈波情報から眠気の状態を検知し、連携機器を通して音声や振動で通知します。[※]

※連携機器にて、センサー振動 / スマホ音声 / スマホ振動、の 3 つから選択できます。
※初期設定は「センサー振動」と「スマホ音声」となっています。



- 眠気予兆とは…注意力や集中力が低下傾向にある状態
- 眠気検知とは…注意力や集中力が低下している状態

安全に正しくお使いいただくために

⚠ 注意

走行中に下記の状態となった場合は、必ず停車時・休憩時など、安全な状況にあるときに対応をしてください。

無線接続失敗の場合

センサーは自動的に連携機器との再接続を 60 秒間試みます。それでも接続できなかった場合、センサー本体は自動で電源 OFF し、「眠気センサーの電源を入れてください」と音声通知が流れますので、**停車時・休憩時など安全な状況にあるときにセンサー本体の電源を入れ直してください。**

「イヤークリップを正しく装着してください」と通知があった場合

イヤークリップの装着にずれや食い込みが生じて正確な脈波情報がとりにくくなっています。
停車時・休憩時など安全な状況にあるときに装着し直してください。

⚠ 注意

装着し直しを促す通知があったとき以外は、無用なイヤークリップの付け直しはお控えください。
眠気の状態を正しく検知できない場合があります。

電池残量低下の音声通知があった場合

電池残量が残り 10 時間未満となっています。
センサーの状態・電池表示ランプが一定時間間隔で赤色点滅します。
運行終了後に専用 AC アダプタと専用充電ケーブルで充電してください。

センサーが稼動しているかどうかを確認したい場合

センサー本体の電源ボタンを短押し（1 回）してください。正常に稼動しており、電池残量にも問題がない場合、センサー本体の振動と状態・電池表示ランプの青色点灯でお知らせします。

状態一覧

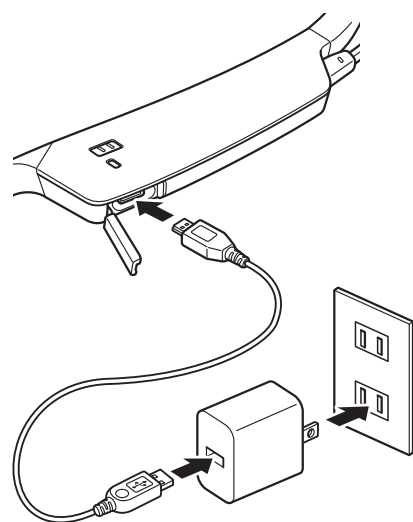
センサーの状態	音声 / 通知音	振動	ランプ(青/赤/消灯※)
電源 ON 前	♪ 眠気センサーの電源を入れてください。	—	—
電源 ON 操作	—	~~~~~ ボタン押下中振動	青 ボタン押下中点灯
電源 OFF 操作	—	~~~~~ 長押し後 3 秒振動	青 長押し後 3 秒点灯
無線接続待ち	—	—	青・青・青・青 0.5 秒毎に点滅継続
無線接続完了	♪ (ポロロン)	—	青 3 秒点灯
無線接続失敗	♪ 眠気センサーと接続できません。電源を入れ直してください。	—	青・青・青・青 0.5 秒毎に点滅継続
無線接続切れ	—	—	青・青・青・青 0.5 秒毎に点滅継続
測定開始	♪ (リンリーン)	—	—
眠気予兆	♪ 眠気に注意して早めに休憩をとってください。	~~~~~ 0.5 秒振動	—
眠気検知	♪ 眠気を検知しました。休憩をとってください。	~~~~~ 0.8 秒振動 × 2 回	—
イヤークリップ装着不備	♪ イヤークリップを正しく装着してください。	—	—
センサー稼動確認 (電池残量あり)	—	~~~~~ 0.5 秒振動	青 3 秒点灯
電池残量低下 (残り10時間未満)	♪ 眠気センサーの電池残量が低下しています。充電が必要です。	—	赤 8 秒毎に点滅継続
充電中	—	—	赤 充電中点灯
充電完了	—	—	消灯
充電中の操作	♪ 充電中は眠気センサーの測定ができません。	—	—

※ [] : 青 [] : 赤 [] : 消灯

充電・電池について

⚠ 注意

- ◆ 充電中は測定・通知・電源ボタン押下などすべて機能しません
- ◆ 測定中に充電を始めるとセンサーの電源が切れます



▶ 充電する際は必ず専用 AC アダプタ、専用充電ケーブルを使ってください。

▶ 左図のようにセンサー本体の左側面（装着時）の電源ボタン脇の充電キャップを外して専用充電ケーブルを差し口にまっすぐ根元まで差し込んでください。

▶ 充電が終わったら専用充電ケーブルのプラグを抜き、充電キャップをしっかりと閉じてください。
しっかりと閉じないと水分が入るなどして故障の原因となります。

■ 内蔵充電電池について

充電電池は正常に使用した場合でも劣化する消耗部品です。充電電池の消耗は、特性であり故障ではありません。保証期間内においても充電電池は有料交換となります。

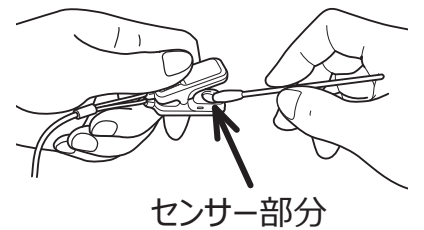
- 本製品を使用せず、長期間保管していた場合、充電性能は低下します。何回か充放電を繰り返すと回復します。
- 周囲温度が低い環境では、持続時間が短くなります。

電源ボタンの操作

- 電源 ON … 長押し (3 秒)
連携機器との無線接続へ移行
- 電源 OFF … 長押し (5 秒)
- 稼動確認 … 短押し (1 回)
稼動状態を確認する

お手入れについて

本製品は精密な電子機器です。特にイヤークリップのセンサー部分は脈波を測定するための重要な部分です。埃や水分、その他の汚れが付着した場合は綿棒などで優しく拭き取ってください。



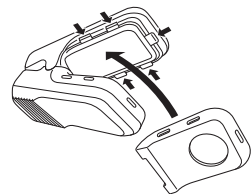
こんなときは

- クリップラバーが外れたら…

クリップラバーがないと検知できない場合があります。必ず付けてから装着してください。

クリップラバーの付け方

右図のように、クリップラバーの 5 ヶ所の取り付け穴をイヤークリップ側のツメにしっかりと合わせて取り付けてください。



- 「イヤークリップを正しく装着してください」と何度も通知がある…
外気の影響などにより耳たぶの血行が滞り、うまく測定できていない場合があります。耳たぶをよく揉んでから再度装着してください。

⚠ 注意

仮眠を取る際はイヤークリップを外してください。眠気を正しく検知できない場合があります。

FEELythm (VE31S100) 取扱説明書 (Web 版)

発行日 2016 年 8 月 発行責任 富士通株式会社

〒105-7123 東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター

- このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。

商標および著作権について

Bluetooth は、米国 Bluetooth SIG, Inc. の登録商標です。各製品名は、各社の商標、または登録商標です。各製品は、各社の著作物です。

Copyright FUJITSU LIMITED 2016